



藤田 裕喜
市政クラブ

マイクロプラスチックをめぐって

問 浜町テニスコートの人工芝が劣化して、マイクロプラスチックとして排水溝から雨水管へ流れていないか。流れないように清掃・回収をしているか。

答 比較的大きな破片は、巡回の時にできる限り回収しているが、磨耗した小さな破片や非常に小さな粒子は、回収することは非常に困難であると考えている。

問 汚水管にマイクロプラスチックが流れている可能性はあるか。

答 一般家庭排水の例で言うと、洗顔料等に含まれるマイクロビーズや、ラップ・ビニール袋等が細かな破片状になったものは汚水管に流れていることが考えられる。



問 国や県、一部の市では、環境基本計画等を定めてマイクロプラスチック対策を始めています。本市も何らかの取組を始めるべきではないか。

答 市の計画等はないが、引き続き国の計画等の施策に沿って、環境保全に取り組みたい。

問 具体的な取組の第一歩として、調査が必要ではないか。

答 国や県の海洋ごみの調査結果から、本市においてもマイクロプラスチックごみが一定量存在することが推察され、その対策が求められると捉えることができる。市が直接調査することは、啓発対策とともに研究したい。



新実 祥悟
市政クラブ

蒲郡の教育白書
2021について

問 A・L・T、英語専門教員の加配が求められているが現状はどうか。また、英語を使った校外活動はどのようか。

答 英語学習においては、小学生の段階からネイティブな発音に触れることが大切とされている。加配を望む声は承知しているが、県の加配も十分でなく、配置に苦慮している。英語を使った校外学習の例として、修学旅行の機会に出会った外国人との英会話を課題としている学校もある。

問 プログラミング教育実施の問題点の解決方法は。電子機器の教育が主眼となり、本来の教育がおろそかになつてしまわないか。

答 プログラミング教育は論理的思考力や創造性、問題解決能力等の育成が目的とされる。自分で考え、それを形にするプログラミング的思考力や行動力の育成が重要とされる。教員は研修会等で指導力向上を目指している。



授業風景

問 地域部活動への移行はいつ、どのような形を想定しているか。

答 部活動指導について、指針の見直しを検討している。参加する大会、平日・休日の部活動時間等を見直す。令和5年秋頃にはモデル部活動を指定し、試行しながら問題点を洗い出し、土日の練習の一部は外部指導者による活動ができる体制を整えていきたい。



日恵 野佳代
無党派
日本共産党

認知症の早期発見・適切な治療・介護

問 認知症の状態を家族が正しく医師や介護認定調査員に伝え、必要な支援・サービスを受けるため、本人の状態を家族がチェックや記入する用紙の作成、配付について伺う。

答 認定調査で本人や介護者がうまく伝えられないことも考えられる。保険者の東三河広域連合と相談しつつ、域内各市等の状況も確認し、改善できることに取り組んでいく。介護者にも普段の様子等をメモしてもらい、調査時等に役立てるよう案内に努める。

バリアフリーの
まちづくり

問 公共施設のエレベーター、トイレ、段差のある箇所への手すり

及び段差のある箇所のカラー反射材の設置状況と設置の考えは。

答 市民が利用するエレベーターで未設置は3基あり、順次設置していく。トイレは古い施設で未設置箇所が残り、施設の段差等は全ての解消には至っておらず、階段を含めた段差の視認性改善策は一部を除き、整備されていない。今後は優先順位等を考慮し、適切に整備していきたい。

問 エレベーターの防災グッズ入りイスの設置状況と取組の考えは。

答 現在、設置はなく、施設用途等を考慮し設置施設の検討をしていきたい。



市役所エレベーターの手すり